

まち towns!

Listen to the towns!
聞こえませんか、まちの音が



NO. 5
発行所 財団法人まちづくり市民財団
〒102 東京都千代田区千代田2-11-3
日本青年会議所会館内
TEL 03-2344-2607 FAX 03-2344-5770

決定! まちづくり助成金交付事業

平成七年度の助成金交付に際し、たくさんのご応募をいただきましてありがとうございました。ご応募いただいた事業のひとつは、第一期・二期合わせて百八十五件の応募の中から、財団選考委員会で厳正な審査を経て、二十一件への助成が決定いたしました。

- ①銅(あかがね) IN マインドピア別子 銅夢物語・新居浜市民会議(愛媛県)
- ②水を生かしたまちづくり市民啓発事業 新町川を守る会(徳島県)
- ③隠岐いきり風活用による地域づくり事業 隠岐いきり風保存会(島根県隠岐島)
- ④商店街活性化事業「街ぐるみ博物館」 加計町本通り商店街振興協議会(広島県)
- ⑤おおう美夫君志会 一大塔の民話・昔話掘り起こし活動 ー おおう美夫君志会(和歌山県)
- ⑥地域総参加での水中花・三島梅花藻の里づくり 三島ゆうすい会(静岡県)
- ⑦郷土民話発掘事業「おらほの昔ばなしあれこれ」 人形劇「はまっこ」(宮城県)
- ⑧八郎列車 八郎列車実行委員会(熊本県)
- ⑨放置山林を高齢者の生き甲斐づくりに役立てる活動 遊子ハイランド一步の会(神奈川県)
- ⑩佐賀セラミックロード車いすマラソン大会'95 佐賀セラミックロード車いすマラソン実行委員会(佐賀県)
- ⑪高森町自然環境フォーラム 高森町自然環境フォーラム実行委員会(長野県)
- ⑫日出町絵巻保存調査事業 日出町絵巻同好会(大分県)
- ⑬「ようこそ丸森・平成7年版」 館矢間まきか団(宮城県)
- ⑭平成7年度木頭太布伝承育成事業 太布織伝承会(徳島県)
- ⑮むらに息づくおんなの手仕事・手わらさ展 てすさびの会(長野県)
- ⑯孫山中世山城の景観整備と歴史発掘 米来学区心をつなぐ地域活動推進委員会(岡山県)
- ⑰市民まつり第2部会(趣味に生きる)「唐津人形」の部 市民まつり連絡協議会(京都府)
- ⑱ふれあい IN 上野訪問アイスキャンダル 諏訪市本町2丁目駅前アムニティ促進委員会(長野県)
- ⑲砂浜美術館・漂流物展 砂浜美術館運営委員会(高知県)
- ⑳国際フォーラム:世界の市民バンクによるまちづくり事業の提案 市民バンク事務局(東京都)
- ㉑いいふうふ、心ふれあいコンサート ふるさといいふふ会(福島県)

第五回漂流物展

砂浜美術館



早いもので、砂浜美術館が漂流物展を始め今年で第五年目を無事終えることが出来ました。まず、主催者である砂浜美術館の説明をさせていただきます。砂浜美術館とは……わたしたちの町には美術館がありません。美しい砂浜が美術館です。砂浜が美術館だとすると……「美しい松原」が作品です。沖に見える「くしら」が作品です。砂浜に咲く「らっきょう」が作品です。卵を産みにくる「海亀」が作品です。砂浜を裸足で走り、貝殻を探す「子供達」が作品です。流れ着く「漂流物」が作品です。波と風が砂浜にデザインする「模様」が作品です。砂浜に残った「小鳥の足あと」が作品です。これが砂浜美術館の世界に届けたいメッセージです。さて、今年は何が届けかな?をテーマに十月十六日から二十七日まで、会場を同町のふるさと総合センターで、「漂流物アート展」

助成金交付地

地図の番号は上記左の番号の位置を示しています

あなたのまちづくり応援します!

…助成金申請をお待ちしております…

当財団では、皆さんの街づくりへの一助として、まちづくり助成金の交付を行っています。「わたしの街をこんなふうにした」「みんなでこんなことをやってみよう」「そんな皆さんの思いを形にするお手伝いをさせていただきます。わたしたちの応援が、皆さんの街を今よりもっと元気にする、それがわたしたちの一番の喜びです。また、この募集は単に助成対象を選んだだけのものではありません。各地で様々な思いを持った人たちが、様々な街づくりに取り組んでいる。その具体的な取り組みに触れることは、今後にもっと皆さんの役に立てる財団になってゆくためにも大切なことなのです。あなたの「夢」を聞かせてください! 来年度(平成八年四月/平成九年三月)に実施される事業が対象です。助成総額六〇〇万円、一件につき最大五〇万円を助成いたします。詳細は、事務局までお問い合わせください。

鏝絵

鏝絵(こてえ)とは、左官職人が施工した家の繁栄を願い、また職人自身の仕事の「手形」として建物の妻や戸袋などに残した漆喰の彫刻です。その図柄は時代を反映しており、忠比寿や八咫鳥などの七福神・鶴・亀・鯉・鬼(子)をたくさん産むので子孫繁栄の意味がある、などが多く、家内安全、魔除けや五穀豊饒を祈願したものと、言われています。大分県内では約七百点が確認されており、そのうち日出(ひじ)町では五十点を確認しています。現在も確認調査を続行中です。鏝絵が残っている建物は明治から大正時代にかけての建築が多く、築後百年をこえ老朽化とともに、鏝絵自体の損傷が極めてひどく、既に取り壊されたものもあり、その保存・補修が急がれています。

大分県日出町 鏝絵同好会

町内に現存する鏝絵を見て回る「鏝絵観察ツアー」は今年で四回開催し、眼下からはより福岡・熊本といった県外からも参加もあり、参加総人数は百四十名を超えています。「鏝絵緊急取り外し工事」は、会員のボランティアにより七点の取り外しが完了しています。「鏝絵緊急取り外し工事」により鏝絵の損傷が進行している部分の補修・剥離・欠落している部分の補修が必要とされています。

「日出町の鏝絵緊急保存事業」は、取り外した鏝絵を完全な状態で保存可能なように補修し、日出町内で開催されるイベントで展示活動を行うことで来訪者に鏝絵への理解・啓蒙を促し、保護・保存を呼びかけることを目的とした事業です。今回の保存事業では、平成六年四月に鏝絵緊急取り外し工事を行った日出町大神(おおが)地区・佐藤家(さとう)とういさぶろう・氏宅の「鯛釣り恵比寿」と平成七年二月に工事を行った日出町大神地区・小石軒(こいしよりひこ)氏宅の「鯛」の二点の鏝絵を対象としました。

平成七年六月より保存補修作業を開始しました。作業は鏝絵補修に造詣の深い日出町の工房平(こうぼらへい)・坂本木刀(さかもとぎ)氏にお願いしました。作業を開始して間もなく、鏝絵裏の土壁の部分の必要となる土を取り除いた時点で鏝絵の損傷が予想以上に進んでいることが分かり、十月末現在、作業の進行状況は三分の一程度です。今後は、①鏝絵裏部分の損傷が進行しないよう凝固剤で固定する②鏝絵表部分の補修・剥離・欠落している部分の補修

「砂浜指定席状況」(大海のゴキウレクター石井忠氏とともに)をメイン会場で、「漂流物展」「漂流物アート展」の募集、「漂流物ガイドさん募集」「ゴミの宝探し」(海の郵便屋さん)をサブ会場で開催致しました。今年には特に、砂浜美術館の「葉雲」を努める人が拾ったという「赤くさびたケースに入った指輪をテーマにして小さな物語を想像してみませんか」という「漂流物アート展」の募集を行いました。新しい間に取り上げられた、新ともあって大変な反響を呼び、全国各地から九十三通の応募があり、うれしい悲鳴をあげました。それから、今年大変うれしい出来事の一つに環境学習という観点から、漂流物組が修学旅行の日程に組み込まれ、全国各地から高校生、中学生の沢山の見学がありました。今年漂流物展は、それにかかわった人達、ギョウラー達にそれぞれメッセージを残していきましました。来年の漂流物展のメッセージは今大きな宇宙を漂流中かもしれません。

唐津人形

市民まつり 連絡協議会

たぐさんの企画の中から、助成金交付事業に選ばれたばかりで嬉しく思っております。広報誌「まち towns」に掲載される三事業の一つに選ばれて、光栄に思っております。

さて、事業内容としては、当地福知山は、古来より北近畿の商業の中心地として栄えてきた関係で、陶器の取引の拠点であったらしく、当地では「唐津」と呼んでおり、「おわん・皿」等、色の付いた陶器を、木の骨組に「わら」で作った体に取付け人形にしたものが「唐津人形」と呼ばれ、過去に於いて三月地方(京都府北部の事)の祭として賑わった、御霊大祭(明智光秀の霊を祭っている神社のお祭り)の「出し」として毎年二、四回出展され人気を集めたが、製作の後継者が無く、昭和四十六年を最後に姿を消してしま

た、然りも御霊大祭と平行して「秋の市民まつり」が同日行われるようになってきたが、やはり伝統芸能を復活させようと、平成二年より製作技術を持つ人々を、市民まつり連絡協議会として発掘し復活させた。しかし今では、昔、陶器の取引の拠点だったという事を知る人も少なく、茶碗やお皿で作った人形が置いてある、といった認識しかなく置いている人がほとんどでしたが、年輩の方々はやはり、昔を思い出しながら今年の「出し」は何だろう?と興味を持って見ている人も多く、やはり「唐津人形」の持つ意味を市民に伝達出来たらと思う。

今までの五年間は「唐津人形」の復活であったが、今後は、よりこの伝統工芸の継承に力を入れなくてはならないと考えています。継承の仕方も、今の形をそのまま継承するのか、他に違った形で継承するのか、

まちづくり人集まれ

「働き、生活する地域に、誇りを持ち、地域固有の歴史や文化、自然を大切にしたいまちづくり」を実現する市民活動を応援するまちづくり市民財団では、わたしたちと共に活動していただける個人および団体を「一般会員」として募集いたします。

会員になっていただいた方は①広報誌「まち towns」の定期購読②まちづくりサロン(復興案)への参加③地域まちづくり情報提供の各活動及び情報の全国への発信・PR④会員の集いへの参加などができます。

共に活動していく中で、全国各地でまちづくりに取り組んでいる人々とのネットワークを作り、あなたがまちづくりに生かされている、実践が、財団の活動を通して今よりもっと豊かな広がりをもつこと、それがわたしたち財団の「夢」なのです。

ひとりの「夢」をみんなの「夢」へ。あなたの「夢」をお待ちしています。一般会員の会費は、年間三千円です。ご応募・お問い合わせは、お気軽に財団事務局までどうぞ。

神戸を救え!

阪神・淡路 ルネッサンス・ファンド(HAR基金)発足

この度、まちづくり市民財団では都市計画家で法政大学教授の田村明氏を始め多くの関係者より、阪神・淡路被災地における被災地の復興事業につきまちは、国や地方自治体などの行政の役割が大きい事は論を待ちませんが、住民主体のまちづくりを実現するために、民間の営利を目的としない様々な支援活動が不可欠です。

このファンドは、被災地以外の法人や個人を対象に、復興まちづくりに取り組む様々な地元組織の活動を、それに協力する様々な領域の専門家を支援致します。

また「まち」と「すまい」の再建だけでなく「くらし」の再建についても重視したいと考えています。この基金の主な助成対象は、以下のように再建を支援致します。

- ① 住まいる・暮らしの再建支援事業(市民と専門家の連携による再建支援)
- ② 住まいる・暮らしの再建支援事業(市民と専門家の連携による再建支援)
- ③ 住まいる・暮らしの再建支援事業(市民と専門家の連携による再建支援)
- ④ 住まいる・暮らしの再建支援事業(市民と専門家の連携による再建支援)
- ⑤ 住まいる・暮らしの再建支援事業(市民と専門家の連携による再建支援)
- ⑥ 住まいる・暮らしの再建支援事業(市民と専門家の連携による再建支援)
- ⑦ 住まいる・暮らしの再建支援事業(市民と専門家の連携による再建支援)
- ⑧ 住まいる・暮らしの再建支援事業(市民と専門家の連携による再建支援)
- ⑨ 住まいる・暮らしの再建支援事業(市民と専門家の連携による再建支援)
- ⑩ 住まいる・暮らしの再建支援事業(市民と専門家の連携による再建支援)

